

## 芦別慈恵園式 複合型在宅サービスについて ～5年間の軌跡～

社会福祉法人芦別慈恵園  
 暮らし事業部 複合型在宅係 係長 藤山勇人  
 お客様連携係 係長 石田大輝

はじまりは  
お客様やご家族様の声…

「ショートステイに行っても退屈だ」

**在宅サービス事業を一体化して運営**

なせ知つないのか」



**芦別市と協議…**

地域密着型通所介護  
 デイサービスセンター(定員18名)  
 緩和型通所介護(定員2名)

短期入所生活介護(ショートステイ)  
 (定員6名)

**平成31年4月  
 芦別慈恵園式  
 複合型在宅サービス誕生**

認知症対応型通所介護  
 もみじの家(定員10名)

訪問介護

### コンセプト

- ① 入浴、食事、ふまねっと、学習療法などを他の事業所の方と一緒に参加することができます。
- ② 職員が常に同じ顔ぶれであり、安心してサービスを受けられます。
- ③ 初めてのショートステイでも、日中はデイサービスで過ごすので不安なく利用できます。

## 職員配置の工夫

- ★デイサービス、認知症デイ、訪問介護を兼務している介護職員を3名配置。
  - ★土日は、通所サービス、訪問介護が休日であるため、ショートステイで勤務できる体制を確保。
- ◎保険者と相談し、同一フロアにてサービス提供していくことから、業務上、支障がないと判断していただく。

## いざ、スタートするが…

事業所毎に分かれて座っている

朝の挨拶も各事業所ごとに行なわれる。

食事の盛り付け、配膳や下膳なども各事業所ごと。

**管理者**としてすべきこと…  
**職員の考えをひとつに!**

## 1年目

職員が複合型を理解できない

フォローができない。

「今日は「うち」何人？」と自分のサービス事業所として捉えてしまう

**新しいことへの抵抗?**

## 2年目

デイ

もみじ、ショート



コロナのおかげ?



コロナ対策による座席の配置

デイサービスの問題

も

シ

訪問介護の問題

**全て自分たちの問題**

「うちのお客様」ではない。  
全て自分たちの（複合型）のお客様である！」

## 目指すべき複合型介護職員



「複合型介護職員の象徴となる職員」

**マル千な介護職員！**



## 1日の流れ

8:30	通所サービス、ショートステイのお客様の送迎
9:30	入浴介助(デイ、もみじの家、ショートステイ)
11:00	ショートステイのお客様の荷物チェック 爪切り
11:50	体操、配膳、食事介助
12:00	休憩
13:00	訪問介護の支援
15:30	デイサービスセンターに戻って、排泄介助や消毒作業
16:15	ラジオ体操 通所サービス、ショートステイのお客様の送迎
17:00	記録
17:30	退勤



デイ・もみじ・ショートステイ業務



再び、デイ・もみじ・ショートステイ業務

## 新たなサービスの特色

ふまねっと



学習療法



## ふまねっとの評価について



タイムアップ&ゴーを実施して、3メートルの距離を往復して歩いていただき、その時間を測定しております。

## ふまねっとの効果



体幹安定、  
歩行能力改善

100名の方が参加  
90名が維持・向上！！

タイムが速く  
なった


**生活に自信**

## 学習療法の効果

**100**

- 他事業所のお客様同士で取り組むようになり、新たな仲間が 出来き、余暇活動へ一緒に参加するなど、楽しみの一環になっている。
- 半年に1回、学習診断（MMSE、FAB）を実施。ほぼ維持している方が多かった。

43名中33名が  
維持・向上！！



### 【ふまねっとの成果】

T様の事例

年齢：利用開始時 87歳 現在92歳


疾患名：アルツハイマー型認知症  
左大腿ヘルニア、小腸壊死切除術後

介護度：要介護2

サービス利用開始：平成31年5月～

サービス：もみじの家 週2回  
ショートステイ 2週間/月2回

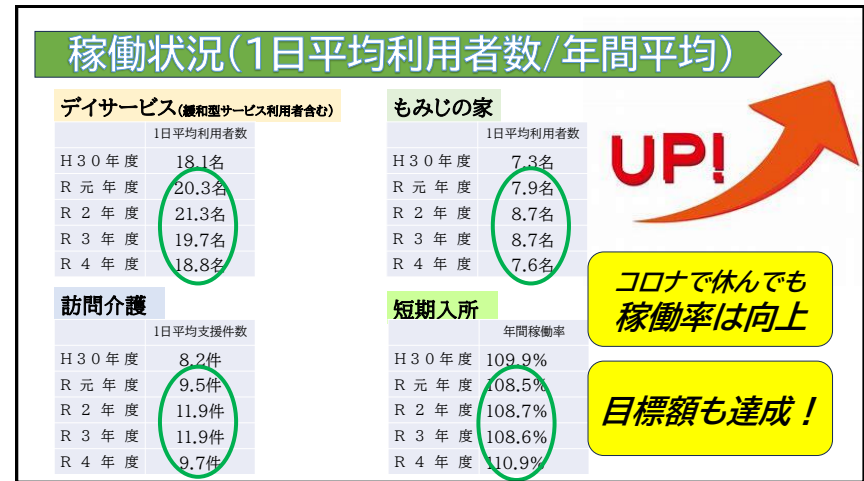
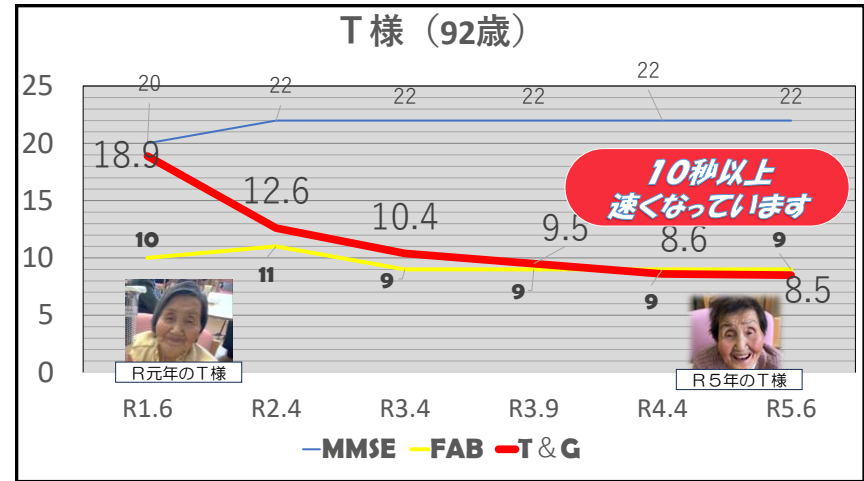
- 利用開始時期から学習療法実施。



平成31年頃のT様



令和元年9月  
タイム13.6秒



### 複合型在宅サービスにした結果

- 他のサービスも利用しやすくなり、各サービスの稼働が**向上し**、**年間目標額も毎年達成**。
- ふまねっとの結果、**ADLが向上し**、お客様の**生活に自信**が付き、元気になった方が増えた。
- 学習療法を通して、**新たな友人**ができ、他の活動なども、誘い合って参加されるようになった。
- ショートステイのお客様は、平日の日中はテイルームまで移動するので活動量が増え、**ADLも向上**。

### 複合型在宅サービスにした結果

## マルチな 介護職員の 育成



**スキルアップ**にも繋がり、**複合型職員の象徴**にもなりました。

星の降る里★芦別  
Starry town  
★ASHIBETSU★

**芦別市人口：11,770人**  
(令和5年5月末)

**高齢化率 47.5%**

(※平成31年4月時点では13,565人)

### <要介護認定者数の推移と推計>

(単位：人)

要介護度	年度	平成30年度末 (H31.3)	令和元年度末 (R2.3)	令和2年度末 (R3.3)	令和3年度末 (R4.3)	令和4年10月末 (R4.10)
要支援1		281	287	296	300	279
要支援2		181	172	158	123	138
要介護1		<b>335</b>	347	345	382	<b>378</b>
要介護2		173	169	164	160	151
要介護3		119	116	114	107	116
要介護4		<b>112</b>	119	105	96	<b>95</b>
要介護5		<b>126</b>	98	80	68	<b>75</b>
合計		1,327	1,308	1,262	1,236	1,232
第1号被保険者数		6,323	6,253	6,180	5,948	5,849
認定率		21.0%	20.9%	20.4%	20.8%	21.1%

(参考：芦別市役所介護高齢課介護保険係 資料)

## 次のステップ

・2024年度 通所サービス+訪問サービスが  
組み合わせられた新たな複合型サービスが創設予定

新たなサービスへ  
移行できるように準備

マルチな介護職員を  
増やす

ご清聴ありがとうございました。